

函 都 景
令和 5 年(2023 年) 7 月 27 日

報 道 機 関 各 位

函館市都市建設部景観政策担当課長

開港 5 都市景観まちづくり会議 2023 函館大会の開催に係る
報道について (依頼)

このことについて、安政 5 年に開港港に指定された 5 都市（横浜，神戸，長崎，新潟，函館）の市民が，景観やまちづくりの課題を協議し，相互に交流することなどを目的に，毎年各都市が持ち回りで会議を開催しており，下記のとおり本年，函館で開催いたします。

つきましては，参加者募集に係る事前のご取材および当日のご取材・報道方につきまして，特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日
令和 5 年（2023 年）9 月 9 日（土）～11 日（月）
- 2 場 所
函館市民会館 ほか
- 3 内 容
別添フライヤーのとおり
- 4 その他
9 月 9 日（土）の全体会議Ⅰ，9 月 10 日（日）の分科会（まちあるき）および全体会議Ⅱの参加者を募集しております。

(景観政策担当 3 3 5 7)



原点・いま・そして、
その先へ
5都市の対話による
未来のデザイン



開港5都市 景観まちづくり会議 2023 函館大会

2023 9/9(土) 10/11(日) 月

横浜
神戸
長崎
新潟
函館

開港5都市景観まちづくり会議は、安政5年に開港港に指定された5都市の市民が、景観やまちづくりの課題を協議し、相互に交流することなどを目的に、毎年各都市で持ち回り開催しているものです。

参加者募集中

全体会議I・各分科会・全体会議IIの参加者を募集します。

令和5年8月18日(金)までに市のHPIにある応募フォームから申し込みください。なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

応募フォーム



■問合せ先

函館市都市建設部まちづくり景観課

電話 0138-21-3357

Eメール machi@city.hakodate.hokkaido.jp

開港5都市景観まちづくり会議
2023函館大会 実行委員会
(函館景観まちづくり協議会)

■函館の歴史的风土を守る会 ■元町倶楽部 ■函館市伝統的建造物群保存会 ■函館デザイン協議会 ■函館市西部地域振興協議会 ■はこだて外国人居留地研究会 ■NPO法人 NPOサポートはこだて ■函館観光ボランティア会 ■函館観光ボランティア会 ■函館市青年サークル協議会 ■函館海岸価値創造プロジェクト ■Code for Hakodate ■函館西部地区バル街実行委員会 ■NPO法人 はこだて街なかプロジェクト ■五稜郭の文化価値を考える会 ■函館花いっぱい道づくりの会 ■函館の歴史を学ぶ会 ■はこだて検定合格者の会 街DO「経路調所」 ■函館観光ボランティアガイド緑ジョイ倶楽部 ■純文DOHNNANプロジェクト ■函館商工会議所 ■一般社団法人 函館青年会議所 ■一般社団法人 北海道建築士会函館支部 ■一般社団法人 はこだて地方創生研究会 ■一般財団法人 北海道国際交流センター ■一般社団法人 Blue Commons Japan ■株式会社はこだてティームオー ■株式会社はこだて西部まちづくRe-Design ■国立大学法人北海道教育大学函館校 ■公立大学法人公立はこだて未来大学 ■野野学園函館大学 ■函館市

協力

金森商船株式会社・五稜郭タワー株式会社・函館バス株式会社・株式会社函館ビヤホール・株式会社ハコダテミライカモン・株式会社ファーストフラッシュ・株式会社二本柳慶一建築研究所・北海道函館工業高等学校・名美興業株式会社・函館山ロープウェイ株式会社・道南いさりび鉄道株式会社・道南いさりび鉄道地域応援隊・橋谷株式会社・有限会社弥生水産・市民有志

後援

北海道渡島総合振興局・公益財団法人 函館市文化・スポーツ振興財団・NHK函館放送局・HBC函館放送局・STV函館放送局・HTB函館支社・UHB北海道文化放送函館支社・TVhテレビ北海道・函館山ロープウェイ(株)FMUのりか・北海道新聞函館支社・朝日新聞函館支局・読売新聞函館支局・毎日新聞函館支局・函館新聞社・NCV函館センター

開港5都市 景観まちづくり会議 2023 函館大会

横浜 神戸 長崎 新潟 函館



開港5都市
景観まちづくり会議

1日 9月9日(土)

全体会議Ⅰ 定員:200名 [一般参加先着順定員50名]

時間 14:30~17:45 (受付開始:14:00~)

会場 函館市民会館 小ホール

参加料 無料

○開会式

○基調講演

○トークセッション

[基調講演] ロシア極東連邦総合大学函館校教授 倉田有佳氏

『五港「開港」:開港地函館にもたらしたものの、
外国人との交流の中から生まれたもの』

[トークセッション]

開港5都市景観まちづくり会議が
各都市にもたらしてきたものとこれから

[アトラクション] 16:45~17:45

市民創作
函館野外劇の特別公演

2日 9月10日(日)

分科会 (まちあるき) 時間 9:00~15:00 ※⑤は16:00終了 参加料 各3,000円(昼食付) 定員:各15~20名 [一般参加先着順定員各10名]

※まちあるきのほか、各テーマに基づき1時間程度、各都市の現状などについて「対話(意見交換)」を行います。※雨天時は内容が変更になる場合があります。

1 函館王道めぐりと新島裏の足跡

観光ボランティアガイドの案内で函館の主要観光エリアである西部地区を歩き、歴史的建造物や新島裏の足跡をめぐります。

行程

【集合】赤レンガ倉庫/まちあるき(新島裏海外渡航の地碑/諸術調所跡)/旧北海道庁函館支庁庁舎【休憩】/まちあるき(旧函館区公会堂/函館ハリストス正教会など)/五島軒本店【昼食・対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ 観光ボランティアガイドの今後 今後、観光ボランティアガイドはどのようにあるべきかについて、まちあるきでの体験や話題提供もふまえ、話し合いを行う。

5 文化財と生きる・歴史と生きる-世界遺産に向けての助走

観光客と市民生活との断片的状況などの課題を体感しつつ、その解決策を考えながら世界遺産への道標を探ります。

行程

【集合】五稜郭タワーアトリウム/まちあるき(五稜郭タワー/五稜郭公園ほか)/市電移動/函館ビヤホール【昼食】/まちあるき(遺愛幼稚園ほか)/旧北海道庁函館支庁庁舎【対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ 文化財と生きる・歴史と生きるとは 特別史跡五稜郭や西部地区の歴史遺産などの見学をとおして歴史の意味を共有するとともに、そこに内在している課題について意見交換する。

2 古地図・古写真でめぐる開港後の歴史~箱館から函館へ~

「古地図・古写真」を活用しつつ、幕末から昭和初期までの函館の歴史を堪能します。

行程

【集合】函館駅前交番横/バス移動/まちあるき(外国人墓地/中華会館/外国人居留地跡ほか)/旧北海道庁函館支庁庁舎【昼食】/まちあるき(旧函館区公会堂ほか)/函館市地域交流まちづくりセンター【対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ 歴史資料の活用方法/観光ガイドのやり方や課題 ・古地図・古写真などの歴史資料の活用事例について情報交換し、未来に向けた活用方法を模索する。
・観光ガイドの現状や課題について情報交換する。

6 JOMONよ時空を超えて“多様性社会を生き抜くために”

世界的には“貴重な”地元にとっては“日常な”世界文化遺産「縄文遺跡」とその周辺地域をめぐります。

行程

【集合】函館駅/バス移動/道の駅しかべ間歌泉公園/大船遺跡/縄文文化交流センター/巨ノ島遺跡【昼食】/バス車内【対話】/五稜乃蔵/函館駅/解散 疲労指数★★☆☆☆

対話テーマ 世界遺産と共生していく地域の関わり 世界遺産の価値が地域へ浸透し、遺産を生かした近隣地域も含めたまちづくりについて話し合う。

3 DeepWest:発見を共有するフィールドワーク

西部地区の奥地(Deep West)で、ポイントをめぐりながらまちを観察します。

行程

【集合】旧金森船具店/フィールドワーク(大町・弁天町、弥生町など)/旧金森船具店【昼食】/フィールドワーク結果のシェア/振り返り【対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ ボトムアップ的発見共有手法/学生間交流 ・ボトムアップ的発見共有手法を実践的に体験した感想を話し合う。
・手法の体験を通してそれぞれの地域で活動する若者(主に学生)が交流する。

7 函館の自然と新たな名物「ブリ」を満喫~函館山&函館公園散策~

函館のシンボルでもある函館山と函館公園をのんびり散策し、近年漁獲量が増えているブリに舌鼓を打ちます。

行程

【集合】函館山ロープウェイ山麓駅/函館山【散策】/バス移動/函館朝市ひろば【昼食・対話】/函館公園(散策)/函館博物館(企画展見学)/解散 疲労指数★★★★★

対話テーマ 魚種転換の事例や対応策/新たな観光コンテンツの可能性 ・函館のブリの状況や取組のように、他都市の状況や対応策を話し合う。
・函館山散策やブリの取組等を新たに観光コンテンツ化する可能性について話し合う。

4 建築・土木の専門家目線でめぐる~歴史的な建造物活用事例ツアー~

歴史的建造物の改修や利活用事例のほか、まちを支えるインフラを見学し、函館の建築・土木の歴史をめぐります。

行程

【集合】街角NEW CULTURE・事例紹介/まちあるき(大三坂ビルディング/東本願寺函館別院ほか)/コルツ【昼食】/まちあるき(元町配水場ほか)/函館市地域交流まちづくりセンター【対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ 歴史的建造物の利活用方法 歴史的な建築物の利活用の方法や古い建物を残す上での課題、古くからあるインフラの整備等を踏まえ、まちあるきをした上で話し合う。

8 アニメなどサブカルコンテンツの聖地巡礼体験

ゴールデンカムイやラブリイサンシャインなどの函館を舞台にしたアニメや漫画の聖地をめぐります。

行程

【集合】シエスタハコダテ/散策(五稜郭公園内)/市電移動/まちあるき(明治館/赤レンガ倉庫群ほか)/函館市地域交流まちづくりセンター【昼食】/まちあるき(二十間坂などの坂/菊泉ほか)/函館ビヤホール【対話】/解散 疲労指数★★★★☆

対話テーマ サブカルコンテンツの観光資源化と発展 聖地巡礼などでアニメや漫画、ゲームを楽しむ側、そういった楽しみを作り出す側の双方の視点とその展望を語り合う。

全体会議Ⅱ 定員:100名 [一般参加先着順定員50名]

時間 16:00~17:30 (受付開始:15:30~)

会場 旧函館区公会堂

参加料 無料

FGプレゼンツ
持続可能な景観まちづくりとは?
~開港5都市の未来を考えよう

○開会 ○話題提供 ○グループディスカッション

「持続可能な景観まちづくり」をテーマに、各都市のまちづくり、景観保全活動に関して課題を挙げ、解決のための活動目標や達成に向けた具体的な取り組みを考えます。

最終日 9月11日(月) ※全て大会関係者のみ参加可

全体会議Ⅲ 定員:100名

時間 11:00~12:00

会場 函館市地域交流まちづくりセンター

参加料 無料

○開会 ○分科会・全体会議Ⅱ・FG・代表者会議報告

○大会宣言 ○大会旗引き継ぎ

○次期開催市(横浜市)挨拶

○主催者謝辞

時間 10:15~10:45

会場 函館市地域交流まちづくりセンター

参加料 無料

代表者会議

FG(フューチャージェネレーション)会議

時間 9:00~10:00

会場 Pres de La Mer

参加料 無料

FGとは:Future Generationの略で、これからの景観まちづくりを担う次世代の集まりのこと